

平成30年度事業計画書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施する。具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、スリランカよらず相談窓口事業、スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業、スリランカの子どもを対象とした教育振興事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよらず相談窓口事業

今後の展開による。

<イ> スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業

(ア) 事業計画

① スバ・ランカ農園のカシューナッツ及びヤシ栽培の維持・管理

ヤシ約80本について実がなり収穫できると考えられる。カシューナッツ栽培については60キロの実を確保したい。天候次第である。

② 希少魚類保護活動の推進

平成29年度には『あいちモリコロ基金』からの助成金を基に、保護センターに汚水処理付きトイレを建設し、亀山市の「魚と子供のネットワーク」の環境教育の専門家を招きシンハラ中学校で講演を行った。今年度はこの活動をさらに進め、希少魚類保護に関する環境教育プログラムを作成し、近隣の学校に提案したい。上記の専門家からの助言を得たい。

③ 牛乳生産協同組合によるアイスクリーム製造の促進

平成28年1月から、ククルパネー・アルピティヤ・ワールハッラ牛乳生産者協同組合はヨーグルト製造を始めたが、平成30年2月中旬に『アジア生協協力基金』からの助成金をもとに、アイスクリーム製造機械を購入し、機械による製造を開始した。その収支をチェックし、製造過程、販売状況を検証する。その純益の一部を組合員への貸付原資とする。

④ ガラピタマダでの自然酪農と有機農業を進展させる事業のための助成金を申請する。

土地2エーカーを賃貸し、牛12頭を購入し牛舎を建設し、牧草と堆肥の原材料となる木を栽培し、牛乳と堆肥を増産する事業計画を提案し、平成31年度に実施できるように助成金を申請する。これは、昨年度、同様の内容で国際協力事業団へ申請した結果、不採択になったことへのリベンジである。

(イ) 支出 404,000 円

① 324,000円 (453,600ルピー)

内訳) 農園管理者給料 300,000ルピー、維持費113,600ルピー、臨時雇用等40,000ルピー

② 10,000円 内訳) プログラム作成費4,000円、通信費6,000円

③ 70,000円 内訳) 貸付原資70,000円

④ 0円

(ウ) 収益 404,000 円

① 324,000円 内訳) カシューナッツの販売10,000円、新規オーナー3名15,000円

ヤシ販売純益137,000円(80本×12個×5回×40ルピー) 協会員の会費&寄付金162,000円

② 10,000円 協会員の会費&寄付金から支出

③ 70,000円 内訳) アイスクリーム販売の純益 70,000円

④ 0円

<ウ> スリランカの子どもを対象とした教育振興事業

(ア) 事業計画

① ガラピタマダ地方の幼稚園における汚水処理付きトイレ建設

『東南アジアに学校を造る会』(延命寺と宝珠寺)の助成金を基にキトゥルガラのスラタニー幼稚園において、汚水処理付きトイレを建設する。

② タミル&シンハラ児童の合同課外授業を行うための環境教育センターの開設とホールの建設

平成27年度末(平成28年3月31日)に夢屋基金からの助成金を得てガラピタマダ地方アルピティヤ村のチャミット宅においてゴム園のインドタミル小学校の児童を対象に、インドタミル人で社会的に成功をした「先輩」を講師に招いて授業を行った。これはインド・タミル児童には中学校・高等学校への進学を動機付けるための授業であった。平成29年1月30日には、大竹財団の助成を得てドゥヌマラ村のシンハラ中学校とインドタミル小学校の生徒を対象にした合同環境教育授業を行った。希少魚類バンドゥラペティヤの生息する小川に行きその魚類を観察し、サナサホールを借りて合同授業をおこなった。平成30年3月に、インドタミルとシンハラの児童及び青年をチャミット宅に集め、合同農業研修を実施した。まず、チャミット宅において、k. wijerathnam氏の環境教育授業を聞き、チャミット宅の近くにあるジャヤマガ青年農業者会の畑に行き堆肥づくりを体験した。こうした3回の経験を通して、両民族の児童・青年が自由に集まり、活動をともにすることができる建物の必要性を痛感した。サナサはガラピタマダにある私的な組合の運営であり、使用料も高く予約もむずかしい。両民族の学校を借りるには地域の教育委員会の許可が必要であり、時間がかかるし、インドタミルの学校を使えば、シンハラの児童や先生は行きにくいと感ずる。逆も真である。両民族にとっていきやすい公平な場所が不可欠である。こうした場所としてチャミット宅が最適であると判断し、

ここにガラピタマダ環境教育センター（仮称）を開設し、専用ホールを建設したいと考えた。

- ③ インドタミルとシンハラの小学校ではコピー機がなく、先生方は教材を印刷するのに私的なコミュニケーション店に行かざるをえないということを知った。問題解決のためにはまずはコピー機の購入が必要であり、さらにそれを設置する場所の確保が重要である。両民族の学校のいずれかに設置すれば他民族の学校には行きづらくなる。先生方が自由に気兼ねなく行き来できる場所にコピー機を設置できれば問題は解決する。こうした場所としては、上記の②のホールが最適である。このためにも②のホール建設が望まれる。
- ④ ②のホールにおいて、ヒンドゥー教と仏教をベースにした「心の癒しセミナー」を開く。チャミット宅ではかねてよりヒンドゥー教の司祭であるプーサーリ及び上座仏教の僧侶を招いて、高齢者や妊婦を対象にセミナーを開いてきた。この講話を組織的に発展させて、すべての人々を対象に心の安定、安全な生活の実現をめざす精神生活向上プログラムを実施する。そのために②のホールにトイレや台所、喫茶室を設け、バリアフリーを実現したいと考えている。
- ⑤ 日本語辞書&日本語教育教材の贈呈
中等学校、大学、日本語私塾（日本語センター）において日本語を学ぶ生徒・学生に、和英・英和辞典、電子辞書を贈呈する。また、スリランカの若い日本語教師たちに贈呈するために日本語教材と日本語能力試験問題集などを贈呈する。そのためにネットを通して、中古品の寄贈を呼びかける。

(イ) 支出 円

- ① 201,405円 内訳) 建設資材 98,745円 労賃 81,780円 輸送 12,180円、雑費8,700円
- ② 500,000円 内訳) 専用ホール建設費 500,000円
- ③ 100,000円 内訳) コピー機の購入 100,000円
- ④ 800,000円 内訳) 専用ホールにおけるトイレ、台所、喫茶室の建設費 800,000円
- ⑤ 30,000円 内訳) 輸送郵送費 30,000円

(ウ) 収益 円

- ① 201,405円 内訳) 『東南アジアに学校を造る会』からの助成金 200,000円、寄付金1,405円
- ② 500,000円 O 財団に申請する予定。
- ③ 100,000円 協会の会費及び寄付から支出する
- ④ 800,000円 N 財団に申請する予定
- ⑤ 30,000円 協会の会費及び寄付から支出する

<エ>日本とスリランカ両国の相互交流推進事業およびボランティア支援事業

(ア) 事業計画

① ボランティア親善旅行2018

「シンハラ語を学んでスリランカに行こう」というボランティア親善旅行を行う。ガラピタマダ地方のゴム園インドタミル小学校とスバ・ランカ日本語研修センター及び真珠日本語センターの生徒と交流し、文房具を贈呈し、日本舞踊、民謡、書道、盆踊りなどの日本文化を紹介する。また、世界遺産5か所に訪れる。9月3日に出発し、12日に帰国予定。

- ② 2019年度、スリランカのパーリ仏教大学において日本語を教える日本人教師を募集する。前期は1月から5月初旬まで、後期は6月後半から10月中旬まで。

(イ) 支出 10,000円

- ① 5,000円 内訳) 通信費 ② 5,000円 内訳) 通信費

(ウ) 収益 0円

- ① 0円

- ② 0円

<オ>スリランカの物産の紹介と普及事業

(ア) 事業計画

スリランカ紅茶局のティーバッグとスバ・ランカ農園のカシューナッツを希望者に随時配布する。

(イ) 支出 63,000円

63,000円 内訳) 物産購入・加工費23,000円（紅茶購入15,000円 カシューナッツの殻除去及び乾燥加工 8,000円）、郵送費 40,000円

(ウ) 収益 63,000円

50,000円 内訳) カシューナッツの随時販売 50,000円 協会員寄付金：13,000円

<カ>スリランカを紹介する広報啓発事業

(ア) 事業計画

- ① シンハラ語入門・初級講座を開講する。名古屋教室20回（新海啓一さん）、岡崎教室5回（大岩）
- ② スリランカ・カレー教室を開催する。5月13日名古屋と11月岡崎で開催する。
- ③ スバ・ランカ協会10年の活動報告会 5月13日名古屋で開催する。

(イ) 支出 185,000円

- ① 100,000円 内訳) 施設使用料60,000円、教材印刷代金 24,000円、交通費 16,000円

- ② 28,000円 内訳) 施設使用料 5,000円 材料費16,000円 通信費1000円 交通費6,000円

- ③ 2,800円 内訳) 施設使用料 2,800円

(ウ) 収益 185,000円

- ① 100,000円 内訳) 受講料 100,000円

- ② 28,000円 内訳) 受講料 28,000円

- ③ 2,800円 内訳) 参加費 2,800円

